

# 東京四極だより

〔書：篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回〕

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

発行者 姫野易之  
責任者 奥川隆生  
編集責任者 東京四極会  
発行所 東京四極会  
〒210-0812  
川崎市川崎区東門前3丁目11-14  
丸伊ビル1階 カワカ産業株式会社内  
E-mail : info@tokyoshiwasukai.jp

## 平成二十九年

# 東京四極会 新年会開催!

2月4日(土) 12時から、新日鐵代々木倶楽部で50名の参加を得て恒例の東京四極会新年会を開催した。地元大分からは四極会会長石川公一氏、大分大学副学長下田憲雄氏を来賓としてお迎えした。

司会は佐藤勝峰事務所長が担当。まず姫野易之理事長が挨拶にたった。

の大統領選などで報道機関の予測が悉く外れた。おそろく報道の既存の情報源にズレが生じているし、SNSも影響力を強めているんだろう。また同様に、大方の予想を外して横綱になった稀勢の里は我が居住地、牛久市の出身で喜ばしい」と会場の笑いを誘っての挨拶となった。

大会員名簿作成への協力依頼について、また、下田副学長は、今年4月から副学長が一つ増えること(社会イノベーション学(科)、一方、定員は15名減の290名となる)の中の財政対応などの苦労、今後の経済学部の発展への期待などを、それぞれのご挨拶の中で披露された。※ご来賓お二人のご挨拶の詳細は東京四極会HPに掲載しています。

気ががんばっていいところの口上で乾杯し新年会に移った。宴の半ばで、第25回(昭和24年卒)の池辺和郎先輩の元気なご挨拶と衛藤辰一参議院議員秘書、柴原佳史氏が議員の活動報告を受けた。



姫野理事長挨拶

「母校は2022年(平成34年)に創立100周年を迎える。四極会としても準備に入っている。また、全国の本部支部のあり方について見直しの検討を行っている。今後の動きは逐次お知らせしていく。ところで世の中に眼を転じると、英国の総離脱に関する国民投票、先の東京都知事選、米国



引き続き、石川四極会会長が、2022年の母校100周年に向けた準備や長期に維持が可能な四極会組織への見直し検討のための委員会の状況、6年に1度改訂する四極



その後、西依事務局長による「我々は大学で、ゼミの先生と直接話でできたこともよかったが、友人と過ごした一見無駄な時間、一見無駄な雑談が、自分の価値観を磨きスケールアップさせてくれた」と思っている。その延長線での四極会活動も自分たちを磨く一つとしてありたい。今年一年元

その後、西依事務局長による「我々は大学で、ゼミの先生と直接話でできたこともよかったが、友人と過ごした一見無駄な時間、一見無駄な雑談が、自分の価値観を磨きスケールアップさせてくれた」と思っている。その延長線での四極会活動も自分たちを磨く一つとしてありたい。今年一年元



そのあと、新年会は、恒例の行事紹介を松岡幸秀氏(囲碁会幹事)、梅谷寛雄氏(たまには歩こう会幹事)・田中典明氏(同幹事)、高橋信行副理事長(ゴルフ会幹事)が行った。飛び込みで、一万田道敏東京四極会顧問がカラオケ活動への勧誘をおこなった。今回の出席者の



### 今後の予定

- ◆平成29年理事会・総会 平成29年6月3日(土) 新日鐵代々木倶楽部
- ◆たまには歩こう会 年数回を予定
- ◆東京四極囲碁会 年数回を予定
- ◆若手会員の集い 平成29年8月7日(月) 田町ニユートキーヨー
- ◆秋の懇親ゴルフ 9月習志野カントリークラブ

### ◆平成30年新年会

来年2月3日(土) 新日鐵代々木倶楽部

確定日程など確認の問い合わせは以下のメール、もしくはハガキで事務所までお願いします。

E-mail : info@tokyoshiwasukai.jp/  
ハガキ(事務所宛):  
〒210-0812 川崎市川崎区東門前3-11-14  
丸伊ビル1階 カワカ産業株式会社内 東京四極会

### 東京四極会ホームページもご覧ください

東京四極会HPは会報だけではカバーできない会員皆さまからの寄稿文、歩こう会の記録、過去の会報バックナンバー、総会や新年会のご来賓の挨拶などを掲載しています。また、HPからも事務局問い合わせや入会・会員登録変更の連絡ができます。

東京四極 検索

中、紅一点、千葉史氏が女性会員増についての環境づくりが必要と説き、校歌・寮歌斉唱ののち、遠藤孝行事務局次長が中締めを担当。



一同、これからの1年  
の会員の健康と四極会活  
動の盛会を祈って散会し  
た。なお、新年会終了後、  
若手・中堅会員を中心と  
する有志は代々木駅前  
移動し、恒例の二次会に  
勢いを持ち込んだ。

**参加会員(敬称略)**  
池辺和郎(第25回)、一  
万田道敏(第38回)、梅  
谷覚雄(同)、小野二六  
(同)、小迫邦彦(第39回)、  
佐藤泰久(同)、大山博  
康(第40回)、友永英一  
(同)、武藤孝雄(同)、  
葛城征志(第41回)、永  
野基昭(同)、松浦靖弘  
(同)、田川俊夫(第44回)、  
竹上英文(同)、高橋信  
行(同)、姫野易之(同)、  
溝辺憲治(同)、宮田豊  
(同)、栗林保幸(同)、西  
内田孝一(第61回)、加  
依章郎(第46回)、的場  
正道(同)、遠藤孝行(第  
68回平成5年)、衛藤寛  
(第69回平成6年)、内田  
智之(第72回平成9年)、  
坂本浩一(同)、徳永直  
也(第81回平成18年)、  
小田達也(第83回平成20  
年)、伊藤裕基(同)  
以上50名

# 道志山塊の石老山(関東百名山)縦走

(第76回歩こう会)

今年(16年)最後となった第76回歩こう会は12月4日(日)、相模湖の南岸に連なる第三紀地層の礫岩に覆われた石老山(標高702m)に奇岩を辿りながら登攀し、冠雪の富士を鑑賞しようという

今年(16年)最後となった第76回歩こう会は12月4日(日)、相模湖の南岸に連なる第三紀地層の礫岩に覆われた石老山(標高702m)に奇岩を辿りながら登攀し、冠雪の富士を鑑賞しようという



神奈川中央交通バスに揺られ15分で石老山入口バス停到着。挨拶を兼ねて自己紹介の後、各自準備体操で体をほぐしてから出発。

滝不動・仁王岩・駒立と名付けられた大岩の間を抜けて登ると30分ほどで顕鏡寺に到着。

石老山顕鏡寺は真言宗の寺院で本尊は十一面観音。仁寿元年(851年)に源海法師によって創建されたと伝えられる。境内は樹齢400年超の蛇木杉や大銀杏、神奈川の名木100選などの巨木に覆われている。ここで参拝を兼ねて小休止。

午前10時、顕鏡寺を後にする。門前の左上にある鳥居を抜けて石段を登る。

再び蓮華岩・大天狗岩・擁護岩(ようごいわ)飯綱権現神社をまつる(試岩ためしいわ)などの間を抜け(2012年に新設された)桜道コースを右に分け、急坂を登って行く。八方岩に到着。ここからは東南方面の展望が開け眺望が良い。津久井湖や相模原市街地の他、富士山も見えました。

さらにその先に進むと道はやや緩やかになって融雪の先が見え、朱色の石祠のある大明神山(551m)に到着。東方眼下に相模湖ピクニックランドの観覧車が見えた。

その先の大明神展望台は鉄柵に囲われたコンクリート作りだがベンチもあり、360度の展望が楽しめる。相模湖の対岸には陣馬山・小仏城山・景信山・高尾山などの山稜が見渡せ、東方方向には都心のビル街も見えた。

参加者：阿萬和水、葛城征志・玲子、竹上英文、田中典明、中邑敬一、橋本四郎、松浦靖弘、松永幸一、溝辺憲治、梅谷寛雄(特選)別参加：加藤英彦、工藤吉子、土屋多喜子、藤井裕子、若月美智子、渡辺和子(以上12名)

終了後は近くの居酒屋で反省会を兼ねて懇親会も行っています。知れば知るほど面白くなる囲碁ですので、参加ご希望の方はぜひ四極会事務局へご連絡ください。

東京四極囲碁会は、年に4回(2月、5月、8月、11月)の囲碁会を開催しています。碁会所は、三ツ学園で囲碁の講師もされている田中さんのご紹介で、新宿囲碁センターです。

対戦は午前10時から始まり、夕方の5時頃まで行われますが、対戦方法

## 囲碁会へのお誘いと報告



参加人数によって総当たりであったり、トーナメント形式であったり、毎回の優勝を競っています。

囲碁は力の違いがあってもハンディキャップを設けることで、誰でも楽しく対局できます。そのハンディキャップは、よく段級位であればありますが、最近は点数制が多くなっています。

- 優勝：箕部源治
- 準優勝：松岡幸秀
- 参加者：中里利男、田中典明、梅谷寛雄、松浦靖弘、溝辺憲治、豊田秀造
- 平成28年8月29日
- 優勝：松岡幸秀
- 準優勝：河野昌二郎
- 参加者：後藤 浩、箕部源治、梅谷寛雄、葛城征志、松浦靖弘、田中典明、豊田秀造
- 平成28年12月9日
- 優勝：河野昌二郎
- 準優勝：溝辺憲治
- 参加者：箕部源治、中里利男、小野二六、松浦靖弘、大石 勝、田中典明、後藤 浩、梅谷寛雄、豊田秀造、松岡幸秀
- 平成29年2月27日
- 優勝：田中典明
- 準優勝：江川和昭
- 参加者：弓部義繁、箕部源治、中里利男、松浦靖弘、豊田秀造、松岡幸秀

# 秋の懇親ゴルフ会を開催

昨年9月26日(月)恒例の秋の懇親ゴルフ会が習志野カントリークラブ(クイーンコース)で開催されました。秋とはいえ蒸し暑い中でのプレー

で、前週の日本シニアオープンゴルフの影響でラフは異常に深く更に池とバンカーがいたる所に配置された難コースで大加となり、優勝は溝辺さんが初の栄冠、2位が3連覇を逃した吉迫さん、3位は石松(ハスクロ)という結果でした。懇親会ではそれぞれ近況やゴルフに対する思いを披露、次回の再会を約して散会しました。東京四極会のゴルフは、春は4月(富士C)、秋は9月(習志野CC他)で開催しております。



参加者：S43年卒・桑山茂春、吉迫利英、S44年卒・溝辺憲治、宮田豊、S48年卒・前田信夫、酒井直人、都俊生、石松英二



# たまには歩こう会新年会

今年の(大分から参加の奥一美新年会さんを含む)。は、1月 冒頭、坂井歩こう会会21日(土)長から開会の挨拶に加午後4時 え、今年2月に満80歳を半からい迎えるのを機に会長を辞つもと同任したいとの申し出がじ赤坂見あった。

附の「月 続いて、前会長の池辺の市場」さんの発声で乾杯を終(月世界 え、宴会に移行した。なビル)で お、池辺さんから大分は開催され二階堂酒造の焼酎(やつがい)、戸次さんから大分

ここ数 銘酒(西の関)の差し入れ日は日本を頂き、その旨が披露された。

海側のみ ならず、和やかな歓談の間を関東平野 縫って、本日大分(別府部)でも小 から特別参加された雪がちら 奥一美(大18・旧姓岡本)つく恐れ さんについて生田陽代さんがあった んから紹介があり、同時に、幸い にご本人が挨拶された。

気温は低 いなが 坂井会長の辞任発言を受けて、後任会長の選考ら、新年 を出席者に図った結果坂会にふさ 井会長の推薦により、梅わしい好 谷幹事の昇格が決まり、天に恵ま また後任幹事には現サブれた。

参加者 晴・中邑敬一の3氏が幹事は末尾記 事団を引き受けることになった。

やあって参加者全員が自己紹介を兼ねて近況を報告した。新春恒例のアトラクションとして永野基昭さんによる詩吟・李白の「早(つと)に白帝城を発す」・野田和文さんからは杜甫の「貧交行(ひんこうこう)」が披露され、さらに初参加の奥さんからも「早に白帝城を発す」が吟じられた。

集合写真撮影後、姫野東京四極会理事長の中締めとなり、しばらくまだ歓談が続いたがやがて三々五々散会となった

参加者：池辺和郎、坂井大和・恭子、戸次笛子、梅谷寛雄、永野基昭、葛城征志、野田和文、松浦靖弘、松永幸一、姫野易之、溝辺憲治、竹上英文、生田陽代、田川俊夫、奥一美、田中典明、百田秀美、中邑敬一、野村聡(以上20名)

謹んでお悔やみ  
申し上げます  
(敬称略)

江藤 富夫(第36回)  
平成28年8月 日  
田中 泰三(第39回)  
平成28年11月23日